

大蔵海岸みらいプロジェクトの取組について

大蔵海岸の更なる活性化を図るため、これまで庁内プロジェクトチームや外部有識者で構成される「大蔵海岸みらいプロジェクト・アドバイザリーボード」を設置し、大蔵海岸の利用状況やニーズの整理、活性化に向けた方策などについて、様々な角度から検討を行い、令和8年2月に大蔵海岸の目指す姿と主な取組の方向性が示されたところです。

それを受けて、今年度は、アドバイザリーボードから示された目指す姿の実現を図るため、下記のとおり、大蔵海岸みらいプロジェクトの取組を進めたいと考えていますので、概要及びスケジュールを報告します。

1 アドバイザリーボードにおける検討結果の概要 ※資料1

大蔵海岸の目指す姿（コンセプト）

日常と非日常が重なる、明石の“海の顔”

～市民の暮らしに溶け込みながら来訪者を惹きつける、市民・関係者・来訪者の関わりが価値を育てる“開かれた海岸都市空間”～

主な取組の方向性

- A) 海の明石を念頭に視座を高く持ち、明石駅周辺、明石港東外港を連動させる明石のまちづくりという大きな視点の中で、大蔵海岸の価値向上を推進していく。
- B) 目指す姿の実現に向けて、①賑わいの創出、②ビーチスポーツ施策の推進、③ネイチャーポジティブの推進、④健康増進の場としての機能強化、⑤癒しの場づくり、⑥明石中心部からの流動創出の仕掛けづくり、⑦持続可能なマネジメント、に取り組んでいく。
- C) 中長期的に、価値向上を持続可能とする仕組みの構築を目指す。

2 大蔵海岸みらいプロジェクトの進め方

(1) 内容

アドバイザリーボードから示された主な取組の方向性に基づき、まずは、①賑わいの創出、②ビーチスポーツ施策の推進、③ネイチャーポジティブの推進の3つのテーマについて、ワーキンググループを立ち上げ、大蔵海岸の活性化に向けて、実施可能な事業について取組を進めつつ、あわせて中長期的な取組への具体策の検討などを進めます。

また、アドバイザリーボードも参加する全体会を開催し、各ワーキンググループにおける意見の取りまとめを行います。

さらに、来年度以降、様々な関係者が相互に連携する仕組みを構築するため、(仮称)大蔵海岸活性化プラットフォームを立ち上げ、各ワーキンググループにおいて取りまとめた、中長期的な取組についての事業精度を高めていきます。

(2) ワーキンググループの構成メンバー

ワーキンググループには、アドバイザーボードメンバーに加えて、各テーマに関係する団体や民間事業者等に参画していただく予定です。

【ワーキンググループに必要と考えるメンバー】

賑わいの創出	大蔵海岸周辺に立地する事業者、公園利用者など
ビーチスポーツ施策の推進	各ビーチスポーツ団体、スポーツ関連企業など
ネイチャーポジティブの推進	研究機関、NPOなど

3 スケジュール

		大蔵海岸 アドバイザーボード	賑わい創出 WG	ビーチスポーツ WG	ネイチャーポ ジティブWG	議会 総務常任委員会
2025 年度	2月	第3回会議 目指す姿の提示				
2026 年度	4月					
	5月		・各テーマの現況調査 ・WGメンバーの検討			
	6月				● WG開催	□今後の進め方
	7月		● WG開催	● WG開催	●	
	8月		●	●	●	
	9月		● 随時開催	● 随時開催	● 随時開催	
	10月		●	●	●	
	11月	◎第1回全体ワーキングの開催（これまでの取組）				
	12月		● 随時開催	● 随時開催	● 随時開催	□取組経過
	1月		●	●	●	
	2月	◎第2回全体ワーキングの開催（WGまとめ案）				
	3月		WGまとめ完成			□WGまとめ
2027 年度	4月		(仮称)大蔵海岸活性化プラットフォーム立ち上げ			
	以降		短期実施可能事業の実施			

●：ワーキンググループ会議 ◎：全体ワーキング会議